

読書

SUND

あとがき
あと

雇用制度や教育を研究してきた経済学者が今回テーマに選んだのはたばこ。自身はかつてヘビースモーカーだったが14年前に禁煙に成功した。「多くの喫煙者がやめたいのにやめられずにいる。そんな人たちを手助けできたら」。執筆の背景にはそんな思いがある。

喫煙と禁煙をめぐる経済学はここ20年ほどで急速に発展したが、日本ではまだ研究が手薄な分野。海外の論文を数多く読み込み、喫煙に関する経済学的分析を体系的に展開した。

多くの人がたばこを買いためせず一箱ずつ買うのは、時間費用を引き上げて過剰喫煙を抑制するため。たばこ増税に賛成する喫煙者が少くないのは、自身の禁煙・節煙に都合がよいから。こうした分析に「や

ててきた経済学者が今回テーマに選んだのはたばこ」。自身はかつてヘビースモーカーだったが14年前に禁煙に成功した。「多くの喫煙者がやめたいのにやめられずにいる。そんな人たちを手助けできたら」。執筆の背景にはそんな思いがある。

りとする喫煙経験者は少ないだろう。

荒井 一博氏



(あらい・かずひろ) 1949年長野県生まれ。イリノイ大大学院博士課程修了。一橋大教授。専門はミクロ経済学・日本経済論。著書に『教育の経済学』など。

心理と社会的要因を分析

自身の成功体験を踏まえた。喫煙を考えることが経済学に新しい概念を持ち込んだ面もある」という手法だ。

今年は祝日が土曜に当たることが多く3連休は少ないが「土日に1日有給休暇を付けてもいい。ゴールデンウイークもある。是非挑戦してみてほしい」。(中)

錢的・時間的費用の節約といった禁煙の「便益」を頭に刻み込む。その上で、3連休前日の夕方からたばこを断つ。翌朝自覚めた時点でも半日ほど喫煙から離れており、ここであきらめるのはもったいないと思うようになる。そして、禁煙で最もつらい最初の3日間を仕事のストレスなく過ごす、

という手法だ。

今年は祝日が土曜に当たることが多く3連休は少ないが「土日に1日有給休暇を付けてもいい。ゴールデンウイークもある。是非挑戦してみてほしい」。(中)

する疾病の発病率低下、金

公新書ラクレ・880円